

はばたけ！佐世保のアスリート③ ハンドボール競技(成年男女・少年男女)

ハンドボールは1チーム7人、パスとドリブルでボールを運び、相手チームの守備をかわしながらゴールヘシュートして得点を競う競技です。豪快なジャンプシュートや激しいぶつかり合いなど迫力満点です。国体強化クラブの指定を受けている「長崎社中」は、昨年の長崎国体リハーサル大会で見事優勝するなど実力派のチームで、本市出身の選手も活躍しています。皆さんの応援をよろしくお願いします。



本市出身の三宅潤選手(前列右から3人目)、松永健選手(前列左から3人目)、相川和紀選手(2列目右端)、深江大翼選手(3列目左から6人目)



長崎がんばらんば国体 2014 長崎がんばらんば大会 2014
 ハンドボール競技(成年男女・少年男女) 10月16日(木)～20日(月)
 会場 東部スポーツ広場体育館、県立佐世保西高校体育館、体育文化館など ④国体推進室 ☎76-7103



佐世保の発展につながる 統合型リゾートを誘致しよう

観光や経済の活性化の切り札として期待されている統合型リゾート(IR)。実現化に向けた動きと誘致などの取り組みについて、朝長市長がお知らせします。

放送予定日	放送時間(放送局)	
3月 1日(土)	9:25(NBC)	11:40(KTN)
3月 8日(土)	9:25(NIB)	11:40(NCC)
3月15日(土)	9:25(NBC)	11:40(KTN)
3月22日(土)	9:25(NIB)	11:40(NCC)
毎週日曜	18:55(テレビ佐世保)	



2月放送の収録の様子。市ホームページで視聴できます。

3月放送のプレゼント



ハウステンボス「シュフォンボブ」を3人に!

ハウステンボスでお土産として人気のオリジナルチーズケーキ。ふわっとした食感が楽しめます。
 ※応募方法は番組内でお知らせします。

④秘書課 ☎24-1111

人の動き 2月1日 現在

- 総人口 256,384人(-103人)
 男性 120,261人(+6人)
 女性 136,123人(-109人)
- 世帯数 105,601世帯(+20世帯)
- ※1月中の動き
 転入 572人、転出 574人
 出生 214人、死亡 315人

させぼ市政だより

- テレビ(毎週土曜)
 NBC・NIB→9時25分～30分
 KTN・NCC→11時40分～45分
- ラジオ
 NBC 日曜 9時25分～30分
 FM長崎 火曜 9時5分～10分
 FMさせぼ 火曜10時30分～35分
 日曜 9時30分～35分
- 新聞 長崎新聞 毎月第2・4火曜
- ホームページ
<http://www.city.sasebo.nagasaki.jp/>



携帯サイト

市長日記 九文バレーボール部 全国制覇おめでとう!



1月12日(日)、第66回全日本バレーボール高等学校選手権大会(春高バレー)における九州文化学園(九文)と東九州龍谷(大分)の決勝戦が東京体育館で行われました。九文は準決勝で強豪共栄学園(東京)にフルセットの末、大逆転勝利。決勝戦の応援には、ぜひとも駆け付けたかったのですが、当日は佐世保市の成人式典と重なっていたため、テレビを見ながら応援することにしました。

決勝戦は準決勝と同様に第1、第2セットを僅差で落とすという展開で、敗戦を覚悟しながら観ていましたが、第3、第4セットは見違えるような強さで連取。最終セットは序盤1-4とリードされる展開で、徐々に差を縮めるも12-14となり、相手にマッチポイントを許しました。いよいよ万事休すの感が漂いましたが、ここからが圧巻。一進一退の攻防の中で、粘りに粘ってジュースを繰返し、マッチポイントを何と9度もしのぎ、最後の最後に25-23で見事に激闘を制しました。高校バレー史に残る劇的な大逆転勝利で、6年ぶり5度目の優勝に輝いた九文バレー部。この優勝で全国制覇13回目という快挙を成し遂げてくれました。

九文バレー部は常勝チーム特有の「決勝進出して当たり前」というようなプレッシャーの中で、多くの皆さんの期待を背負いながら、いつも試合を行っていることと思います。そうした中、選手たちは常に「最後まであきらめない」「全力を尽くす」「監督・チームメイト

優勝報告に市役所を訪れた九文バレー部の関係者の皆さん



を信頼する」という精神で頑張っているとのこと。恐らく、井上博明監督をはじめ、出野久仁子コーチや池田愛子コーチのすばらしい指導力と、毎朝6時30分からの朝練と16時から19時までの厳しい練習に耐え抜いたことなどによって芽生えたものだと思います。監督やコーチ、選手、そしてサポートを続けられる安部理事長をはじめとする全ての関係者の皆さまを心から、たたえたいと思います。

これからは3年生が卒業し、新チームとなりますが、ことしのインターハイ、そして10月に本市で開催される「長崎がんばらんば国体」で、佐世保市民に優勝の感動を与えていただくよう頑張ってください。また、卒業される3年生の皆さんの中には国体の「成年の部」で選手として出場される方もおられるようですので、引き続き活躍され、さらには東京オリンピックを目指していただくことも期待しています。

九州文化学園高等学校バレーボール部の皆さん、全国制覇おめでとう!そして感動をありがとう!

佐世保市長 朝長 則男

徳育通信 24

相手の目を見て話そう

佐世保市子ども会のメイン行事は、「少年の船」やリーダー研修会、各単位子ども会での壁紙新聞作り、子ども会大会などがあります。

中でも大きな行事である少年の船は夏休み2泊3日で、紺べきの海が美しい宇久島で体験活動を行います。出発に当たって、子どもたちとは、携帯電話・ゲーム機の使用は禁止、おやつは子ども会からの支給のものだけ、お小遣い持参なし、持ち物の自主管理をし、洗濯も自分であることを約束します。そして、相手の目を見て話し、意思を伝えることが大切であることを話します。

日常生活の便利さから少しだけ離れ、子ども同士で共通の体験をし、しっかりコミュニケーションを取ることで、子どもたちが自立することを狙いとしているのです。

子どもたちは分からないことや出来事などを周りの大人・年長者に話し掛ける。大人は子どもたちの問い掛けに笑顔で答える。大人も子どもも相手の目を見て話す。これが佐世保市が推進している「徳育」につながるとしています。

子ども会は、さまざまな活動を通して、「他人への感謝・思いやりの気持ちを持つ」「してはいけないことはしない」「やらなければいけないことはやる」という基本習慣が子どもたちの心の中に根付くための事業を展開していきます。今後「相手の目を見て話そう」をモットーとして。



佐世保市子ども会育成連絡協議会 会長 河内 秀之

この徳育通信を切り抜いてノートに貼り、「徳育ノート」として家庭で保管しましょう!